防災対応マニュアル：大地震発生時等（自力通学生）

自力通学生	学校	保護者
緊　急　地　震　速　報		
●安全の確保 ・かばん等による頭部の保護 ・倒壊しそうな箇所から離れる		
本　震　（揺　れ）　が　お　さ　ま　る **※余震に注意しながら、安全が確保できる場所で待機する**		
	対策本部設置	
●安全な場所で待機 ・できる限り方面別でまとまる。 ・公共交通機関利用生徒は、乗務員の指示、誘導に従う。	●状況確認、情報収集 ・公共交通機関の関係諸機関に連絡または、生徒との連絡（携帯等）で通学生の状況の確認をする。	
自宅へ行く又は戻る 学校へ行く又は戻る 路線上の避難所に移動または待機	●職員派遣（各主要駅、バス停に2名ずつ） ・生徒を掌握し、状況を学校へ連絡する。 ・状況に応じて、①待機して保護者の迎えを待ち、受け渡す。②自宅へ送る。③学校へ連れ戻す。等の対応をする。	●学校から連絡を受け、迎えに出る。 ・連絡が取れないときは保護者から向かう。
学校、自宅へ連絡	●生徒掌握 ●保護者へ連絡 メール：開封確認あり 電話：メール未登録者 ・通信不可の場合、災害伝言ダイヤル(171)にメッセージをいれる。	
	・連絡のつかない家庭は宿泊準備	
引き渡し完了		